

碧南市芸術文化ホール指定管理に関する点検評価表

複数年度分（審査委員会平均）

評価基準	評価項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
施設の管理運営に関する基準 (30点)	利用日時に関すること (2点)	20.7	20.0	22.26	27.18	
	職員体制に関すること (8点)					
	備品管理に関すること (2点)					
	情報管理に関すること (4点)					
	禁止事項に関すること (2点)					
	事故・事件・災害等に関すること (2点)					
	経費の管理に関すること (4点)					
	利用の促進及びサービス向上に関すること (4点)					
	法令等の遵守に関すること (2点)					
舞台芸術の振興及び普及に関する基準 (40点)	質の高い鑑賞事業を展開すること (8点)	21.0	25.3	27.55	31.73	
	芸術文化活動の育成及び普及に関する事業を展開すること (8点)					
	地域を活性化させる事業を展開すること (8点)					
	芸術文化の情報発信に関すること (4点)					
	市民協働に関すること (8点)					
	連携に関すること (4点)					
施設の利用に関する基準 (10点)	来館者サービスに関すること (4点)	6.7	7.0	7.6	8.2	
	施設等の貸出しに関すること (4点)					
	施設の広報に関すること (2点)					
施設の維持及び管理に関する基準 (12点)	施設の維持管理に関すること (2点)	8.4	7.0	8.64	9.96	
	フォーラム・駐車場・駐輪場の管理に関すること (2点)					
	修繕・工事に関すること (4点)					
	環境保全に関すること (4点)					
その他の基準 (8点)	自己評価に関すること (2点)	5.6	5.3	5.3	6.05	
	市の事務事業等に関すること (2点)					
	レストランに関すること (2点)					
	自主事業に関すること (2点)					
合計 (100点)		62.4	64.6	71.35	83.12	0

点検評価コメント	
平成26年度	開館当初から芸文の催事に足を運んでいた人たちが指定管理者導入後、離れてしまった感がある。呼び戻せるようなクラシック鑑賞事業を企画すること。新しい来館者層は広がりを見せており評価できる。NPO法人の設立に具体性のある計画を立てること。また、地域活性化について努力しているが、より一層の取り組みをすること。
平成27年度	市民が足を運びたいような催事の企画をすること。地元アーティストと連携すること。水戸芸術館との連携事業については碧南市と今後の方向性を考えること。NPO法人の設立に具体性のある計画を立てること。公演事業について文化振興事業費の充当の仕方を見直すこと、また公演事業の削減はしないこと。民間施設・公共施設と連携し、市民協働を図ること。
平成28年度	目標水準を上げて、適正な集客に挑むこと。外部資金の獲得について検討を進め、努力をすること。燃料費の考え方を精査し、予算との収支差が大きくなるようにすること。水戸芸術館との連携事業については、碧南市と協議をすること。市民行動について、ボランティアの今後の方向性を定めること。NPO法人設立について、ロードマップを作成してビジョンを示すこと（早急に）。レストランとの調整を図り、その他の基準をあげていくこと。
平成29年度	利用料金収入の徴収体制の整備、市との綿密な情報交換等、管理運営面で評価できる点が多数みられること。過去3年間の事業内容を精査した結果が、好調な公演チケット売行き・入場率の向上は基より、収支の改善、更に内容的にも評価できる演目が増えてきており、努力の結果が表れていること。小中学校へのアウトリーチを始めとした育成・普及事業や地域の賑わいを創出する事業が展開・充実されてきていること。ボランティアによる事業が開始されているが、更なる組織・活動の充実を図ること。水戸芸術館との連携については、行政の方針を加味する部分であるため、市と協議のうえ調整を行うこと。
平成30年度	